

送辞

卒業生のみなさま、ご卒業おめでとうございます。例年よりも あたたかかった 冬が終わりを告げ、すべての始まりである春がやってきました。今日は、先輩方が九州高校での生活を締めくくる日でもあり、それと同時に、それぞれの道を歩み始める日でもあります。

3年前の入学式からはじまった高校生活を振り返ると、きっと思い出せないほどの出来事があったことと思われま。月日は流れ、最高学年を迎えた1年前の春。九州高校生としての最後の1年が終わろうとしているいま、先輩方はどんなことを感じているのでしょうか。今年度の学校スローガン「光跡」をもとに創り上げた文化祭。最後に全校生徒で共にハピネスを合唱するところまで、先輩方の一つひとつの行動に、私たちは大変感動し、あこがれました。

また、体育祭では雨の影響を受け、多くの練習時間が失われました。そんな中でも、先輩方は決してあきらめることなく、体育祭を成功へと導きました。先輩方は、覚えているでしょうか。練習期間中に1度、突然大雨が降りだした時のことを。その時先輩方は自分たちのことを後回しにして、私たち後輩に早く雨宿りをさせるため、大雨の中、誘導してくださいました。あの時私たちは、「すごいなあ。1年後あんな風になれるかなあ。どんな3年間を過ごしてきたら、ああいう行動ができるようになるのかな。今は無理でも、1年後あんな風になりたい！」そう思いました。先輩方の背中が、私たちに教えてくれました。九州高校の最高学年としてのあるべき姿を。先輩方は私たちの理想です。先輩方のおかげで、練習時間が少なかったにもかかわらず、素晴らしい体育祭になりました。

今日で九州高校を旅立つ先輩方へ。先輩方はいかなるときも私たちを助けて下さいました。人間関係で悩んでいた時、自分の経験から学んだことを教えてくださって、そして励ましてくださって、ありがとうございました。後輩のことを思って、あえて厳しいことを伝えてくださって、ありがとうございました。先輩たちの背中を見て、少しずつ成長しつつある私たちを、大きな心で見守ってくださって、ありがとうございました。私たちは、先輩方の未来が幸せであることを祈っています。

先輩方から教わった、協力の大切さ、不屈の精神、前向きな姿勢を決して忘れません。先輩方が3年間で培った「卓然自立」の精神を、そして創り上げてきた光跡を、私たちが受け継いでいきます。

とはいえ、これからさまざまな試練が待ち受けていることを考えると、正直不安にもなります。時々、弱気になっている私たちをいつものように叱りにきてください。私たちが一步踏み出す勇気が持てずに、躊躇しているときは、どうかその背中を押しに来てください。

先輩方が卒業後、悩みながらも生き生きと自分の人生を歩む姿が、私たち後輩の希望となります。本当に、ありがとうございました。

最後に、未来の岸辺へと夢の舟を漕ぎだした先輩方、ご卒業おめでとうございます。

令和2年3月1日 在校生総代 安部祐太